

セキスイ熱膨張耐火材
ファイブロック
 ケーブル区画貫通措置部材
PF管・ケーブル貫通用

取扱説明書

貫通する防火区画

ALC/コンクリート壁・床
 中空壁/中空床/片壁
 押出成形セメント板壁
 準耐火45分壁

国土交通大臣認定品、(一財)日本消防設備安全センター評定品

製品内容

品名	品番	サイズ(厚さ×幅×長さ)	梱包単位
PF管テープ	TBCZ014	2mm×50mm×2m	1巻/箱
PF管シート	SBCZ001	1mm×150mm×150mm	10枚/箱
PF管シート S100*	SBCZ101	1mm×100mm×100mm	10枚/袋
PF管シート S150*	SBCZ102	1mm×150mm×150mm	10枚/袋

*スリット(切れ目)が入りハサミやカッターが不要です。

●関連製品

品名	品番	サイズ(厚さ×幅×長さ)	梱包単位
セキスイ耐火パテ	NCJM001	—	500g×10袋/箱

認定シールおよび評定マークのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にファイブロック区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す『認定シール』をご用意しております。また、特定共同住宅等にご使用の場合、(一財)日本消防設備安全センター発行の『評定マーク』または『評定一括プレート』の貼付が必要です。ご請求方法は、1現場ごとに弊社ファイブロックHPの『認定シール・評定マーク・評定一括プレート申請』よりご請求願います。申請内容を確認の上、ご請求枚数の『認定シール・評定マーク等』を送付させていただきます。

WEB申請はどちらから https://anet.sekisui.co.jp/fp_doc_dl/webshinsei.aspx

適用範囲① PF/CD管・ケーブル貫通用工法

●用途／電気配線 ※中空床のみ給水管貫通にも対応(PS060FL-0857)

●適用場所・壁の場合

国土交通大臣認定番号	PS060WL-0213	PS060WL-0297	PS060WL-0358-1	PS045WL-0567	
壁 仕様・厚み	国土交通大臣が指定もしくは認定した 準耐火構造(60分)又は耐火構造(60分)の壁	・中空壁(厚100mm以上) ・ALC壁(厚75mm以上) ・コンクリート壁(厚70mm以上)	・片面強化セッコウボード 間仕切壁 (厚42mm以上)	・建築基準法第2条7号の 二の規定に基づき、 国土交通大臣が認めた 準耐火構造(45分)の壁 (厚74mm以上)	
最大開口径	Φ110mm以下				
貫通管種	PF, CD管	ケーブル	PF, CD管とケーブル同時貫通可		
電線管とケーブルの 総断面積	4900mm ² 以下	3200mm ² 以下	4283mm ² 以下	5157mm ² 以下	
合成樹脂製 可とう電線管	規格	JIS C 8411	JIS C 8411		
	種類	PF管・CD管	PF管・CD管		
	外径	Φ45.5mm以下	Φ48.0mm以下		
ケーブル	導体断面積	38mm ² 以下	60mm ² 以下	60mm ² 以下	
占積率	51.3% 以下	34.0% 以下	45.1% 以下	54.3% 以下	
充てん材	セキスイ耐火パテ (NCJM001) 石こう系接着剤 石こうボード用目地処理材 モルタル(ALC/コンクリートのみ)		セキスイ 耐火パテ (NCJM001)		

・床の場合

国土交通大臣認定番号	PS060FL-0638	PS060FL-0856	PS060FL-0857
床 仕様・厚み	・ALC床(厚100mm以上) ・コンクリート床(厚100mm以上)	・中空床(厚233.5mm以上) 国土交通大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分) および耐火構造(60分)の床	
最大開口径	Φ110mm以下	Φ94.5mm以下	Φ78mm以下
貫通管種	PF・CD管とケーブル同時貫通可	PF管	①硬質ポリ塩化ビニル管 規格:JIS K 6741,6742,6776 外径:26mm以下
電線管とケーブルの総断面積	7503mm ² 以下	4164mm ² 以下	
合成樹脂製可とう電線管	規格 種類 外径	JIS C 8411 PF管・CD管 48.0mm以下	
ケーブル	導体断面積 総導体断面積	60mm ² 以下 196mm ² 以下	248mm ² 以下
占積率	79.0%以下	59.4%以下	85.3%以下
充てん材	材料 充てん量	無し —	シリコーン系シーリング材(JIS A 5758) 60g/m以上

適用範囲② PF/CD管・ケーブル貫通工法(消防法関係含む)

●用途／電気配線 ●適用場所

国土交通大臣認定番号/ (一財)日本消防設備安全センター評定番号	PS060WL-0371	KK19-145号	KK2023-009号	PS060WL-0372	KK19-144号
壁 仕様、厚み	・中空壁(厚100mm以上) グラスウール充填両面強化 せっこうボード重張軽量鉄 骨下地間仕切り壁(準耐火構 造)及び国土交通大臣が 認定した耐火構造の壁(60分)	・中空壁(厚100mm以上) 両面強化せっこうボード 12.5mm2枚重ね張り 中空部50mm(24kg/m ³) のグラスウール充填)	・中空壁(厚94mm以上) 普通硬質せっこうボード(上張) 9.5mm+強化せっこうボード(下張) 12.5mm2枚重ね張り 軽量鉄骨下地間仕切り壁 中空部12mm(10kg/m ³) 以上のグラスウール充填)	・ALC壁 (厚100mm以上) ・コンクリート壁 (厚100mm以上)	・ALC壁 (厚100mm以上) ・コンクリート壁 (厚100mm以上)
最大開口径	Φ110mm以下				
貫通管種・配線パターン	☆	●(配線パターン①②)	●(配線パターン③)	☆	●(配線パターン①②)
電線管とケーブルの総断面積	2498mm ² 以下	—	—	2498mm ² 以下	—
合成樹脂製可とう電線管	規格 種類 外径 本数	JIS C8411 PF管・CD管 48mm以下 1本			
ケーブル	導体断面積 (ケーブル1本あたり)	38mm ² 以下	原則として下記の 対象配線パターンのみ	38mm ² 以下	原則として下記の 対象配線パターンのみ
占積率	26.3%以下	—	—	26.3%以下	—
充てん材	材料 充てん量	セキスイ耐火パテ(NCJM001) 両側各25mm以上			
— ☆: PF管、CD管とケーブル同時貫通可 ●: 原則として下記の配線パターンのみ					

☆: PF管、CD管とケーブル同時貫通可 ●: 原則として下記の配線パターンのみ

配線パターン①

種類	数量
CD管 呼び径42以下	1本
CET/F 38mm ² 以下	1条
CEE/F 1.25mm ² ×10C以下	1条
IE/F 14mm ² 以下	1条
光ファイバー	1条

配線パターン②

種類	数量
PF管 呼び径36以下	1本
CVT 38mm ² 以下	1条
CVV 1.25mm ² ×10C以下	1条
IV 14mm ² 以下	1条
光ファイバー	1条

配線パターン③ ケース1

種類	数量
PF管 呼び径36以下	1本
CVT 38mm ² ×3C	1条

ケース2

種類	数量
PF管 呼び径36以下	1本
CET 38mm ² ×3C	1条

PF管への挿入ケーブル

種類	数量
IV 1.6mm×7C	1本
FCPEV 0.9mm×3P	1本
HP 1.2mm×5P	1本
EM-FP-F 1.6mm×2C	1本
S-7C-FB	1本
ICT 0.5mm ² ×2P	1本
VVF 2mm×3C	1本
UTP 0.5mm×4P	1本
FCT 0.65mm×10P	1本
EM IE/F 1.6mm×7	1本
VCTF 0.75mm ² ×3C	1本
光ファイバー	2本

PF管への挿入ケーブル

種類	数量
CCP 0.65mm×10P	1本
AEV 1.2mm×5P	1本
EM-SH-CF 1.2mm×2C	1本
EM-FCPEE 0.9mm ² ×10C	1本
CEE/F 1.25mm ² ×10C	1本
CVV 1.25mm ² ×10C	1本
光ファイバー	2本

CD管への挿入ケーブル

種類	数量
CET/F 38mm ² 以下	1条

PF管への挿入ケーブル

種類	数量
CEE/F 1.25mm ² ×10C以下	1条
EM-FCPEE 0.9mm ² ×10P以下	1条
EM-FP φ1.2×2C以下	1条
EM-S-7C-FB	1条
光ファイバー	1条



●詳しくは各認定書・評定書をご確認ください。

認定書・評定書一覧はこちらから

<https://www.sekisui.co.jp/fp/technology/index.html>

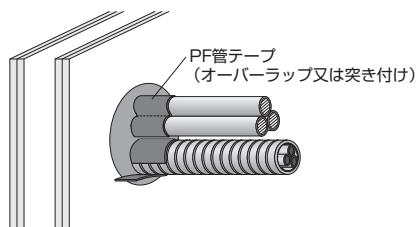
標準施工方法（壁）

1.PF管、CD管・ケーブルの敷設

- 開口部を設置します。
- PF管、CD管・ケーブル等を敷設し、開口部の所定の位置に充てん材等を充てんします。
- ◆認定・評定番号により使用できる充てん材・量が異なります。適用範囲をご確認ください。

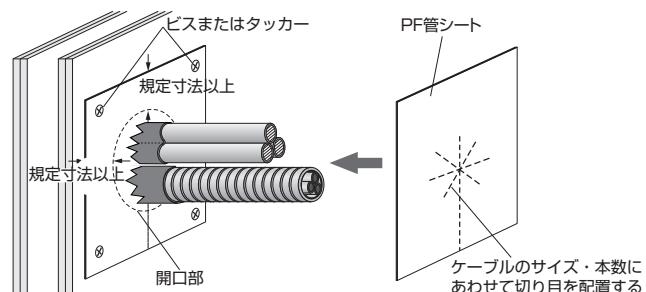
2.PF管テープの巻き付け

- PF管テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- 「施工上の注意」にしたがって、PF管、CD管・ケーブルにPF管テープを巻き付けます。



3.PF管シートの貼り付け

- PF管、CD管・ケーブルの本数・サイズに合わせてPF管シートに切り目を配置してください。
- 開口部外周から上下左右とも規定寸法以上被覆できる位置にPF管シートを貼り付けます。
- ビス、タッカーを用いてPF管シートの4隅を留め付けます。



◆PS060WL-0875,0372およびKK19-144号の場合は必要ありません。

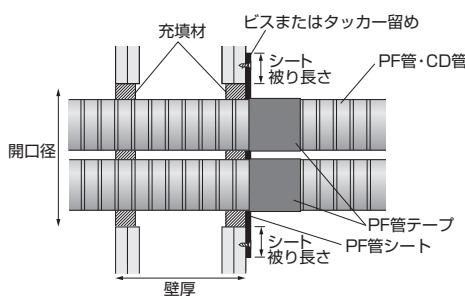
◎標準施工状態：国土交通大臣認定番号

	工法（下図参照）	壁厚（mm）	開口径（mm）	シート被り長さ（mm）	充填材	充填材の深さ（mm）
PS060WL-0213	①	中空壁 100以上 ALC 壁 75以上 コンクリート壁 70以上	φ110以下	20以上	セキスイ耐火パテ (NCJMO01)	中空壁両側 20以上 ALC壁両側 20以上 コンクリート壁両側 20以上
PS060WL-0297	②					42以上
PS060WL-0358-1	③					中空壁両側 22以上
PS045WL-0567	①④(準耐火構造(45分)の壁)					両側25以上
PS060WL-0371	①④					50以上
PS060WL-0372	⑤					50以上

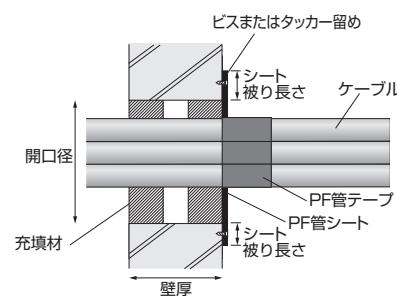
◎標準施工状態：(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号

KK19-145号	④(強化せっこうボード)	100以上	φ110以下	20以上	セキスイ耐火パテ (NCJMO01)	両側25以上
KK19-144号	⑤			—		50以上
KK2023-009号	④(普通硬質せっこうボード+強化せっこうボード)			20以上		両側22以上

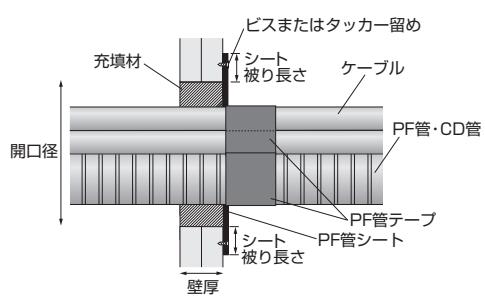
①中空壁 PF管・CD管貫通



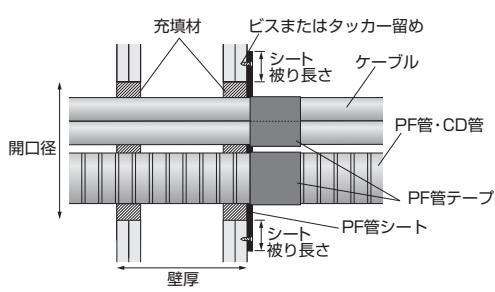
②ALC/コンクリート壁 ケーブル貫通



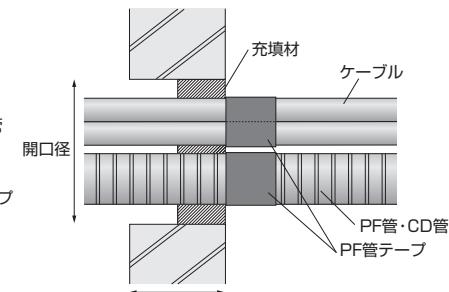
③片壁 PF管・CD管とケーブル同時貫通



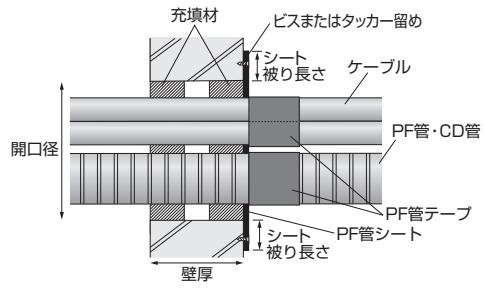
④中空壁 PF管・CD管とケーブル同時貫通



⑤ALC/コンクリート壁 PF管・CD管とケーブル同時貫通



⑥ALC/コンクリート壁 PF管・CD管とケーブル同時貫通



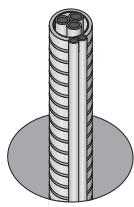
※KK2023-009号はPF管とケーブル

標準施工方法（床）

ALC床・コンクリート床の場合 (PS060FL-0638)

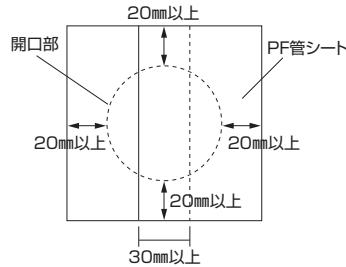
1.電線管・ケーブルの敷設

- 開口部を設置します(直径110mm以下)。
- PF管・CD管・ケーブルを敷設します。

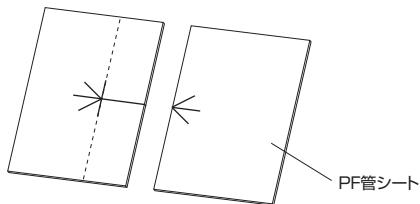


2.PF管シートの貼り付け

- PF管シートを貼り付ける位置の埃・汚れを除去します。
- 必要サイズのPF管シートを2枚用意します。サイズは開口部の端から20mm以上、かつ2枚のシートが中央部で30mm以上重なるサイズとしてください。



- PF管・CD管・ケーブルの本数・サイズに合わせて切り目を配置してください。

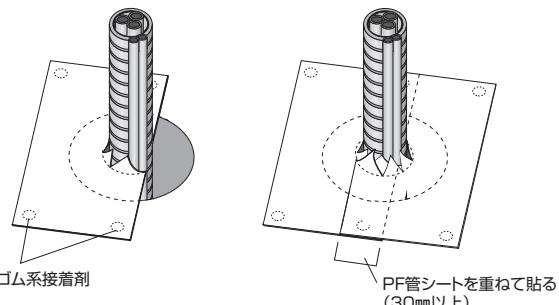


- 開口部の端から20mm以上、かつ2枚のシートが中央部で30mm以上重なるように設置します。

3.PF管シートの固定

<コンクリート専用のゴム系接着剤で固定する場合>

- 1枚目のシートの4隅に接着剤を塗布して床に固定します。
- さらに、2枚目のシートの4隅に接着剤を塗布し、1枚目のシートと30mm以上重なるように設置し、床に固定します。

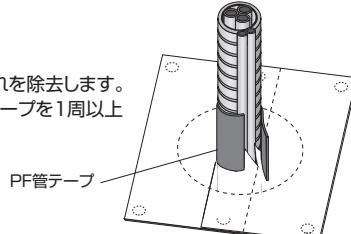


<ステーブルまたはコンクリートビスで固定する場合>

- 2枚のシートを所定の位置に設置します。

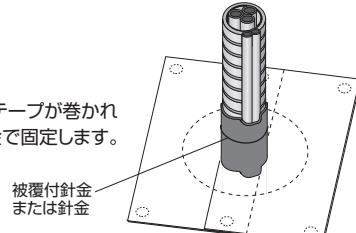
4.PF管テープの巻き付け

- PF管テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- PF管・CD管・ケーブルにPF管テープを1周以上巻き付けます。

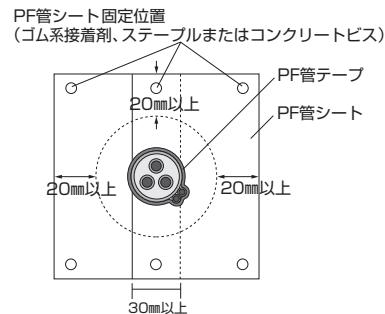
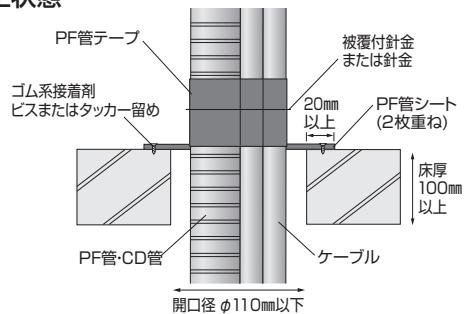


5.仕上げ

- PF管・CD管・ケーブルにPF管テープが巻かれた部分を被覆付針金または針金で固定します。



◎標準施工状態



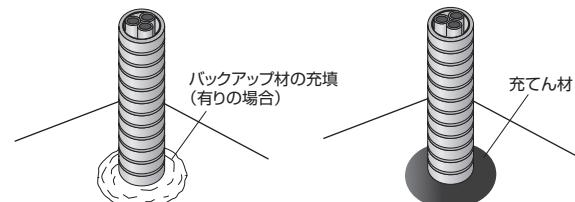
中空床の場合 (PS060FL-0856,0857)

1.電線管、給水管の敷設

- 開口部を設置します。
- PF管・給水管を敷設します。

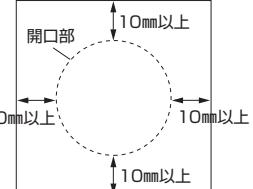
2.床下側の施工

- パックアップ材^{※1}の上に充てん材^{※2}を施工します。
- ※1 推奨材料：積水化学工業製 ライトロンロッド
- ※2 推奨材料：積水フーラー製 セキスイシリコーンシーラント

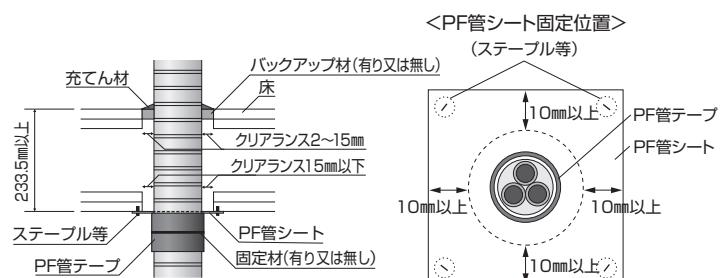
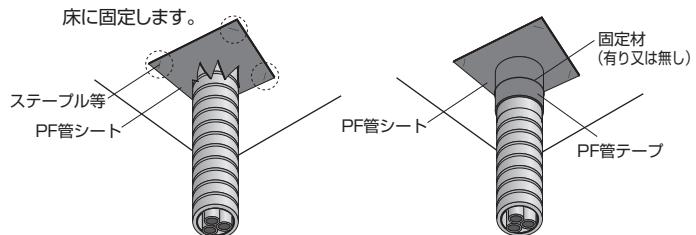


3.床下側の施工

- PF管シートを貼り付ける位置の埃・汚れを除去します。
- PF管シートを開口部の端から10mm以上と重なるように施工します。



- PF管のサイズに合わせてPF管シートにPF管テープを巻き付け、固定材を切れ目を入れた後ステーブルを用いて床に固定します。
- PF管シート固定位置 (ステーブル等)



適用範囲③ スラブ埋設工法

●用途／電気配線

●貫通可能な電線管・ケーブル

床または壁からの配線状態	ケーブルが出ている場合	電線管が出ている場合
(一財)日本消防設備安全センター評定番号	KK21-003号	KK21-004号
合成樹脂製可とう電線管	外径34mm(呼び径28)以下	
	CV(38mm ² 以下)	
挿入ケーブル	VVF(1.6mm ² ×2C以下)	
	光ケーブル 2P	
	同軸ケーブル 7C	

※充填材は「セキスイ耐火パテ」をお使いください。

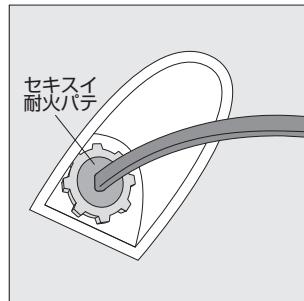
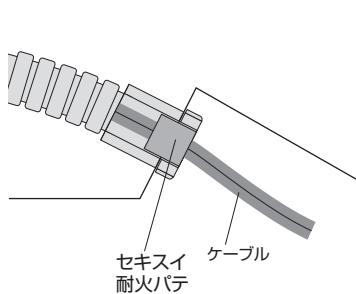
標準施工方法

◎床または壁からケーブルが出ている場合

1.耐火パテの充てん

- 開口部に耐火パテを充てんします。

※本工法には「セキスイ耐火パテ」(別売)をご使用ください。

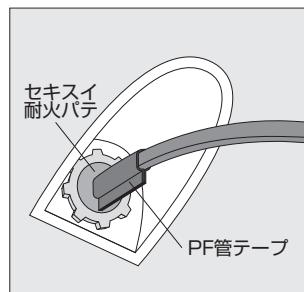
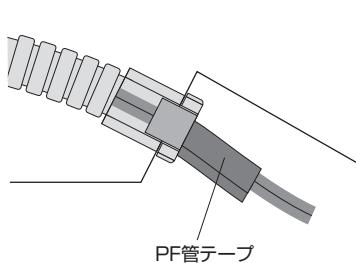


2.PF管テープの巻き付け

- PF管テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。

- ケーブルの根本部分にPF管テープを巻き付けます。

※テープの脱落を防ぐため余った部分は粘着面同士を接合してください。

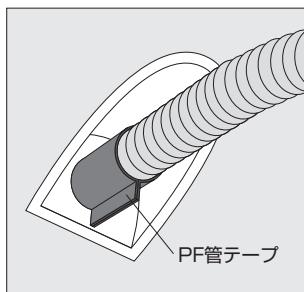
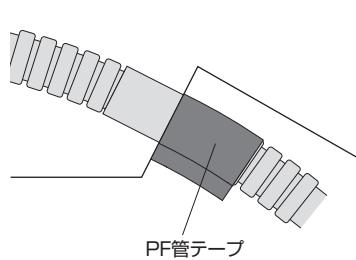


◎床または壁から電線管が出ている場合

1.PF管テープの巻き付け

- PF管テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。

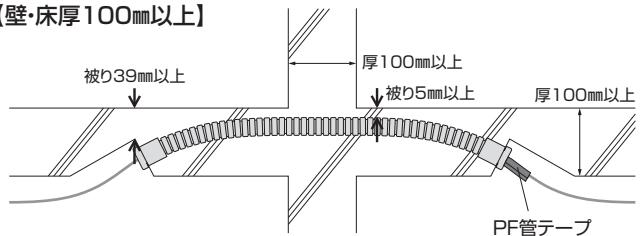
- ケーブルの根本部分にPF管テープを巻き付けます。



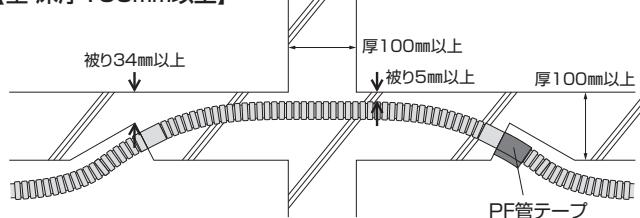
※テープの脱落を防ぐため余った部分は粘着面同士を接合してください。

◎標準施工状態

【壁・床厚100mm以上】

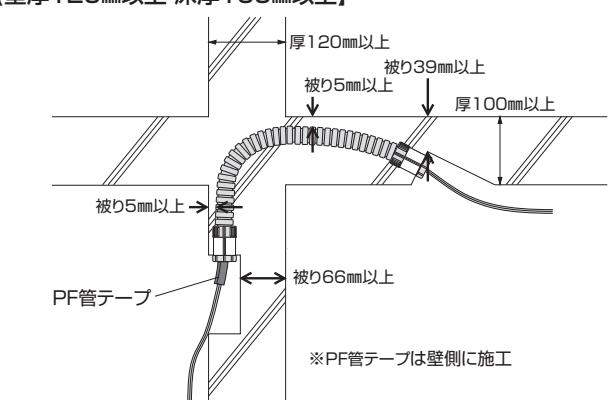


【壁・床厚100mm以上】



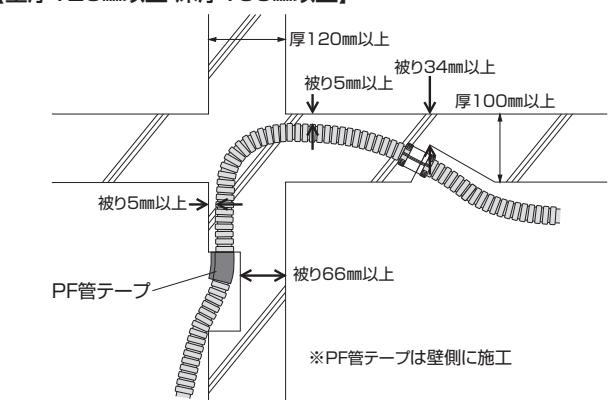
※PF管テープはどちらか片側の施工で可

【壁厚120mm以上・床厚100mm以上】



※PF管テープは壁側に施工

【壁厚120mm以上・床厚100mm以上】



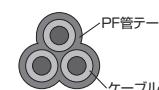
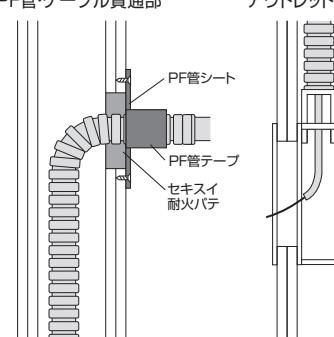
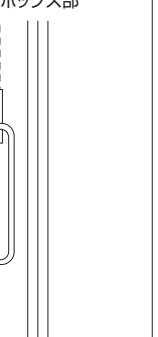
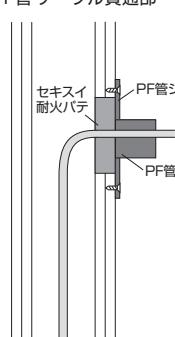
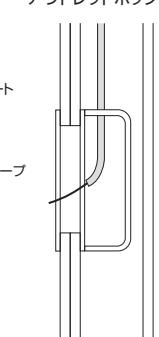
※PF管テープは壁側に施工

注意事項

▼スラブ埋設工法には必ず「セキスイ耐火パテ」(別売)を使用してください。

適用範囲④ アウトレットボックス工法 (PF管・CD管・ケーブル)

- 用途／電気配線
- 適用条件

		PF管・CD管			ケーブル			
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0711	PS060WL-0712	PS045WL-0713	PS045WL-0801	PS060WL-0802	PS060WL-0803	
壁	仕様	①両面強化せっこうボード重張間仕切り壁 (準耐火構造(60分)) ②国土交通大臣が認定した耐火構造 (60分)の壁		建築基準法第2条第七号の二の規定に基づく準耐火構造(45分)の壁		①両面強化せっこうボード重張間仕切り壁 (準耐火構造(60分)) ②国土交通大臣が認定した耐火構造 (60分)の壁		
	厚さ	115mm以上	100mm以上	94mm以上	94mm以上	100mm以上	115mm以上	
開口寸法	アウトレットボックス部	284×92mm以下	146×92mm以下			284×92mm以下		
	電線管・ケーブル貫通	φ110mm以下						
アウトレットボックス	寸法(mm)	320(±4)×117(±4) ×54(±4)以下 (1~6個用)	182(±4)×117(±4) ×44(±4)以下 (1~3個用)			320(±4)×117(±4) ×54(±4)以下 (1~6個用)		
合成樹脂製可とう電線管	規格	JIS C 8411			—			
	種類	PF管・CD管						
	外径	φ36.5mm以下 (呼び径28以下)	φ30.5mm以下 (呼び径22以下)					
ケーブル	導体断面積 (ケーブル1本あたり)	22mm ² 以下						
占積率		54.6%以下	54.6%以下	47.3%以下	27.9%以下	38.1%以下	38.1%以下	
充てん材		セキスイ耐火パテ (NCJM001)						
充てん材深さ		25mm以上	25mm以上	22mm以上	22mm以上	25mm以上	25mm以上	
PF/CD管、ケーブル貫通部のPF管テープの巻き付け		PF/CD管へ、1本ずつ巻き付け 	PF/CD管へ、3本までとも巻き可 	ケーブルとも巻き可 				
標準施工状態 (断面図)		PF管・ケーブル貫通部 	アウトレットボックス部 	PF管・ケーブル貫通部 	アウトレットボックス部 			

●詳しくは各認定書をご確認ください。

標準施工方法

◎PF管・CD管・ケーブル貫通部の施工

1.PF管・CD管・ケーブルの敷設

- 開口部を設置します。
- PF管・CD管・ケーブルを敷設し、開口部の所定の位置に充てん材***で隙間を充てんします。

※注意：充てん材***以外の耐火バテや耐熱シール材は、使用できません。

2.「PF管テープ」の巻き付け

- PF管テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- 3本以下のPF管・CD管にまとめて「PF管テープ」を巻きつけることが可能です。

※ただし、PS060OWL-0711の場合に限り1本づつPF管テープを巻き付けます。

3.「PF管シート」の貼り付け

- PF管シートにPF管・CD管またはケーブルの本数・サイズに合わせて切り目を入れてください。
- 開口部外周から上下左右とも規定寸法以上被覆できる位置に「PF管シート」を貼り付けます。
- ビス、タッカーを用いて「PF管シート」の4隅を留め付けます。

◎鋼製アウトレットボックス部の施工

1.鋼製ボックスの設置

- 鋼製ボックスを支持金具を使用して壁下地材に取り付けます。

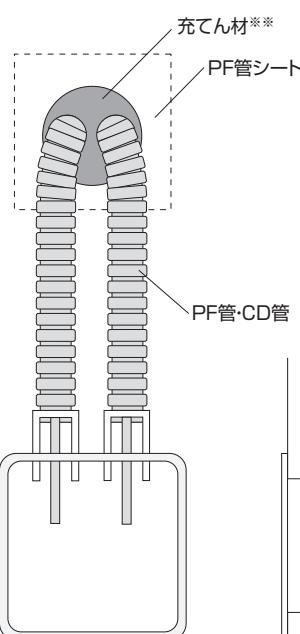
※注意：樹脂製ボックスは、使用できません。

- 開口部を設置します。

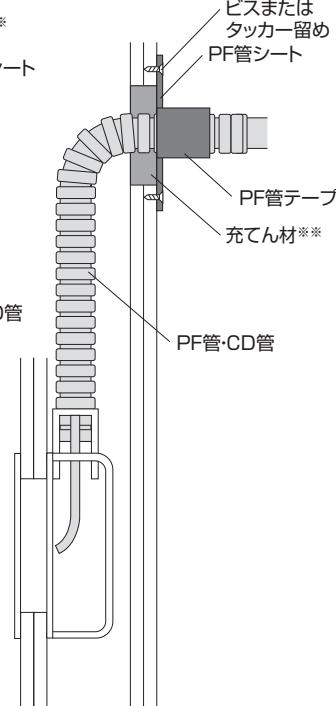
※※充てん材：P6 適用範囲③アウトレットボックス工法(PF管・CD管・ケーブル)の充てん材をご確認ください。

◎標準施工状態

【壁内の状態】



【断面図】



鋼製アウトレットボックス部の「PF管シート」と「充てん材」は不要です。

⚠ 注意事項

- フィブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
- 区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
- フィブロックの幅は規定の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
- ケーブルや電線管の支持機能はありません。別途、支持固定を行ってください。
- 別途内線規程がある場合、遵守して施工してください。
- 防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
- 必要に応じて、手袋や保護めがね等、適切な保護具を使用してください。
- 水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
- 紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
- 製品に局所的な荷重が加わると、潰れなどの変形や破れの恐れがあるため、保管や輸送の際はご注意ください。
- 残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。
- 防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。

製造元 積水化学工業株式会社

耐火材料事業部

<https://www.sekisui.co.jp/fp/>



販売元 積水マテリアルソリューションズ株式会社

耐火資材営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6
TEL 03(6744)5806 FAX 03(6744)5807

●お問い合わせは上記連絡先にお願いいたします。

*本製品は改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

—7—

ツールコード
No. 07363
(FP063T)
2025. 7. TX